

文化祭の取り組みが始まりました。

8 月 3 0 日（水）から始まった文化祭の取り組み。

今年の 1 年生は、取り組みスタートからエンジン全開。各部門、リーダーを中心として自分たちでそれぞれの部門練習に取り組んでいます。そんな姿を見て、この学年は一体どんなすごい舞台を作り上げるんだろうと、今からワクワクしています。

舞台発表の中で、部門の活動と同じくらい力を入れたいものがあります。それは、145 人による全員合唱です。気持ちが 1 つになった合唱は人を感動させる力を持ちます。舞台発表を成功させるためには、各部門で完成度を高める必要があります。同時に、文化祭のテーマである「共生」=共に生きるにもあるように 73 期生全員が気持ちをひとつにして歌う合唱の成功が舞台発表の成功には必要なのです。合唱が成功しなければ、文化祭は成功とはいえません。145 人が気持ちをひとつにして、合唱が終わった時に「あ～、一生懸命取り組んで良かったなぁ。」という達成感が味わえるように、合唱を通して、みんなで、お互いを認め合い、高め合うそんな学年を作って欲しいなぁと思っています。

今回、1 年生は「ええねん」と「僕が一番欲しかったもの」の 2 曲に取り組めます。「ええねん」は全員が同じメロディを歌います。この合唱のポイントは、ズバリ元気よさ。部門の取り組み前に、各クラスで「ええねん」を歌っています。1 日目。「ええねん」を歌ったときはどのクラスも遠慮していたのか、元気のない歌声で、「大丈夫？」と少し心配していました。しかし、2 日目から、各クラス勢いが出てきて、3 日目には各クラス「ええねん」の大合唱。これは、期待大です。「僕が一番欲しかったもの」は、三部合唱です。音を取るのがとても難しく、難易度 MAX。しかし、この 73 期生は、そんな難易度の高い曲にも、前向きに取り組む POWER があります。PL（パートリーダー）を中心として、何と、自主的に放課後練習を始めています！！

この三部合唱は「ええねん」同様、期待大・大・大です。

そして、忘れてはいけないのが、この合唱を支えるピアノ伴奏者の存在です。先日ピアノオーディションを行いました、3 人の人がオーディションに参加してくれました。この 3 人は、夏休み、自分の時間を使って、学年合唱のためにたくさん練習を重ねてくれました。そんな見えないところで、合唱を支えてくれている人の存在にも気づいて欲しいと思います。